

樣 式 ・ 資 料



## 様式目次

様式 1-2	避難所感染症対策のチェックリスト	1
様式 5-1	避難者名簿	2
様式 5-2	避難者一覧表	4
様式 5-3	避難者の健康等チェックシート	5
様式 6-1	避難所状況報告書（初動期用）	6
様式 6-2	避難所状況報告書（第 報）	8
様式 6-3	避難者の健康状況調査シート	10
様式 11	「物資・食料などの配分方針」に関する伝達文（案）	11
様式 17-1	避難所ボランティア受付表	12
様式 17-2	ボランティア活動時の注意事項等	13
様式 18-1	取材に来られた方への注意事項	14
様式 19	健康・保健衛生上の注意事項	15
資料 2-1	避難所担当職員の参集について	16
資料 2-2	新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト	17
資料 2-3	避難所の感染予防対策について	21
資料 3-1	正しい手洗いの仕方	23
資料 3-2	咳エチケットの徹底	25
資料 3-3	マスクの着け方・外し方	26
様式 3-4	消毒液の作り方	27
様式 3-5	トイレの清掃の仕方	28
様式 3-6	手袋・エプロンの外し方	29



様式 1-2

避難所感染症対策のチェックリスト

避難所名

記入者 ( )

連絡先 ( )

分類	チェック項目	結果○	
環境	ライフラインの確保ができています		ガス／電気／水道／電話
	床掃除ができています		回/日 チェック体制：有／無
	共有部分（特にトイレや洗面場所など水回り）の清掃・消毒ができています		回/日 チェック体制：有／無 トイレの状況： 仮設／常設 水洗／汲み取り
	ドアノブや手すり等の多くの人が触れる場所の消毒ができています		
	避難所の出入口や各部屋の出入口に手指消毒用アルコールを配置しています		
	トイレや手洗い場に、液体せっけん、ペーパータオルを配置しています		
	固形石鹸、布タオルの共有をしていない		
	ハエや蚊の対策を十分にしています		
	換気をしている		常時 or 分毎
	温度・湿度に配慮しています		
	有症状者等が滞在する個室等を設けている		個室 or 隔離スペース
	有症状者等専用のトイレや出入口を設けている		
	ゴミの管理が適正にできています		
	食べ物の管理が適正にできています		賞味期限の確認→期限切れ廃棄
物品	手洗い用液体石けん		
	ペーパータオル		
	手指消毒用アルコール		
	ウェットティッシュ・除菌シート		
	マスク		
	体温計		
	次亜塩素酸ナトリウム		
	長袖ガウン		
	ゴーグル		
	ゴミ袋		
	使い捨て手袋		
	吐物処理セット・処理手順説明書		
	啓発 掲示	手洗い、うがいを励行するよう呼びかけている	
咳エチケットの実施を呼びかけている			
マスクの着用を呼びかけている			
早めの受診を勧めている			
土などで汚れた傷を放置せず、医療機関に紹介する			
環境整備・清掃・消毒を呼びかけている			
吐物処理について（嘔吐した際は申告し、避難所スタッフが処理対応する）			
体調がすぐれない場合に申し出るよう呼びかけている			
情報収集	避難者名簿の登録を確実にしている		
	避難者の受付時に体温測定、健康チェックを実施している		
	定期的に、避難者の体温測定、健康チェックを実施している		回/日
	避難者の健康管理の実施状況を災害対策本部に報告している		
	医療機関の受診結果の報告を求めている		
その他	下痢、嘔吐、発熱患者が同時期に複数の避難者に発生した場合には、災害対策本部及び保健所に連絡する		
引継 事項 (巡回者)	不足物品 ( ) 要準備の掲示物・物品 ( )		

避難者 → 被災者管理班 (市担当者)  
 (避難所名 )  
 No \_\_\_\_\_

### 避難者名簿

組・班名 \_\_\_\_\_

①	世帯代表者氏名					住所		
②	入所日時	年 月 日 時 分				電話		
	家	ふりがな 氏 名	年 齢	性 別	要 配 慮 者	体 調 不 良	所 属 町内会名	
				男 女		有 無	家屋の 被害状況	全壊 ・ 半壊 ・ 一部破損 停電・ガス停止・断水・電話不通
				男 女		有 無	親族等 連絡先	住所 氏名 電話
	族			男 女		有 無	車 (使用者のみ)	車種 ナンバー
				男 女		有 無		
	注意 点	(病気や障がいなど配慮して欲しいこと、体調不良の場合の詳細をお書きください。)						
避難 形態	ア：避難所避難者 イ：テント泊 ウ：車中泊 エ：在宅避難者 オ：帰宅困難者 カ：その他							
③	個人情報の 取り扱い	ご親族の方々等に安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を公表及び他からの問い合わせに対し回答する予定ですが、 <b>希望しない場合は、○で囲んで下さい。</b>					希望しない	
④	避難スペース の区分	一般 個室 その他 ( )	滞在 区画			避難者 グループ		
⑤	退出日時	年 月 日 時 分				登 録		
		転出先 住所 (氏名) 電話					退 所	

- ◎ この名簿は、入所時に世帯代表の方が記入し、被災者管理班へお渡しください。
- ◎ 名簿を提出することで、避難者登録され、避難所での生活支援が受けられるようになりますので、車中泊や在宅避難者の方も記入してください。

様式5-1 (記入例)

避難者 → 被災者管理班 (市担当者)  
 (避難所名 )  
 No \_\_\_\_\_

避難者名簿

組・班名 ○○班

①	世帯代表者氏名	松 山 太 郎					住 所	松山市二番町7-4
②	入所日時	○○年○○月○○日○○時○○分					電 話	○○○ (○○○) ○○○○
	家	ふりがな	年	性	要配慮者	体調不良	所 属 町内会名	○○○町内会
		氏 名	齢	別				
		まつ やま た ろう 松 山 太 郎	44	男		有 無		
	族	まつ やま はな こ 松 山 花 子	44	男 女		有 無	家屋の 被害状況	全壊・半壊・一部破損 停電・ガス停止・断水・電話不通
		まつ やま いち ろう 松 山 一 郎	10	男 女		有 無		
		まつ やま よ ね 松 山 ヨ ネ	78	男 女	○	有 無	親族等 連絡先	住所 氏名 電話
				男 女		有 無	車 (使用者のみ)	車種 ナンバー
注意 点	(病気や障がいなど配慮して欲しいこと、体調不良の場合の詳細をお書きください。)							
注意 点	花子 37.8℃の発熱、咳あり ヨネ 右足が不自由 (車椅子必要)							
避難 形態	ア：避難所避難者 イ：テント泊 ウ：車中泊 エ：在宅避難者 オ：帰宅困難者 カ：その他							
③	個人情報の 取り扱い	ご親族の方々等に安否をお知らせするため、住所、氏名、性別を公表及び他からの問い合わせに対し回答する予定ですが、 希望しない場合は、○で囲んで下さい。					希望しない	
④	避難スペース の区分	一般 その他 ( 個室 )	滞在 区画	小会議室	避難者 グループ			
⑤	退出日時	年 月 日 時 分					登 録	
	転出先 住所 (氏名) 電話						退 所	

◎ この名簿は、入所時に世帯代表の方が記入し、被災者管理班へお渡しください。

◎ 名簿を提出することで、避難者登録され、避難所での生活支援が受けられるようになりますので、車中泊や在宅避難者の方も記入してください。

様式5-2

### 避難者一覧表

No.	世帯区分 (注1)	ふりがな 氏名	避難 状態 (注2)	年 齢	性 別	住 所 電 話	入 所 日 時 退 所 日 時	情報 公開 不可 (注3)	月 日	備 考 (注5)
									体 温	
1					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
2					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
3					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
4					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
5					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
6					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
7					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
8					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
9					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
10					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
11					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
12					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
13					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
14					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
15					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
16					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
17					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
18					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
19					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	
20					男・女	( )	月 日 時 分 月 日 時 分		℃ 有・無	

- ◎ 被災者管理班は、避難者が記入した避難者名簿を取りまとめ、この一覧表を作成します。
- ◎ (注1) 世帯区分には、世帯代表者に○印を記入し、世帯ごとに実線で区切ります。
- ◎ (注2) 避難状態は避難者名簿と同様に次の区分とし、記号で記入します。  
 ア. 避難所避難者    イ. テント泊    ウ. 車中泊    エ. 在宅避難者    オ. 帰宅困難者    カ. その他
- ◎ (注3) 安否確認のための情報公開について希望なしの場合には、○印を記入します。
- ◎ (注4) 避難者の毎朝の体温測定、健康チェックシートを基に、体温及び症状の有無を記入します。
- ◎ (注5) 要配慮者である場合は「要」と記入し、注意すべき事項も記入します。



ひなんじょ こ かた  
避難所に来られた方へ

ねん がつ にち  
年 月 日

ひなんしゃ けんこうなど  
避難者の健康等チェックシート

しんがた かんせんかくたいぼうしたいさく ひなん うけつけ あわ  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、避難の受付に併せて  
けんこう おこな きょうりょく ねが  
健康チェックを行っています。ご協力をお願いいたします。

し めい ねん れい ( さい )  
氏名 年 齢 ( 歳 )  
たいおんそくてい じかん  
体温測定 ( . °C ) 時間 ( : )

けんこう  
【健康チェック】

チェック項目	回答
① 発熱や熱っぽさがありますか？	( はい・いいえ )
② 咳や喉の痛み、くしゃみ等の風邪症状がありますか？	( はい・いいえ )
③ 体のだるさ、体の痛み等の不調がありますか？	( はい・いいえ )
④ 吐き気、嘔吐や下痢等の症状がありますか？	( はい・いいえ )
⑤ 味やにおいが感じにくいことがありますか？	( はい・いいえ )
⑥ 直近、2週間で新型コロナウイルス等の感染症が 流行している地域に訪れたことがありますか？	( はい・いいえ )
⑦ その他、体のことで気になることがあれば記入してください。 ( )	( )

### 避難所状況報告書（初動期用）

災害対策本部事務局 : FAX 987-7744 TEL 987-7000

避難所名		開設 日時	年 月 日 時 分	避難 種別	準備情報・勧告・指示 自主避難	閉鎖 日時	年 月 日 時 分
------	--	----------	--------------	----------	--------------------	----------	--------------

		第1報（参集後すぐ）	第2報（3時間後）	第3報（6時間後・閉鎖時）
送信者名				
災害対策本部事務局受信者				
報告日時		月 日 時 分	月 日 時 分	月 日 時 分
受信手段		FAX・電話・伝令・その他（ ）	FAX・電話・伝令・その他（ ）	FAX・電話・伝令・その他（ ）
受信先番号				
人 数		約 人	約 人	約 人
世 帯		約 世帯	約 世帯	約 世帯
傷 病 者		有（ 人） ・ 無	有（ 人） ・ 無	有（ 人） ・ 無
周辺 状況	建物安全確認	未実施・安全・要注意・危険	未実施・安全・要注意・危険	未実施・安全・要注意・危険
	人命救助	不要・必要(約ヶ所 人)・不明	不要・必要(約ヶ所 人)・不明	不要・必要(約ヶ所 人)・不明
	火 災	なし・延焼中(約 件)・大火の危険	なし・延焼中(約 件)・大火の危険	なし・延焼中(約 件)・大火の危険
	ライフライン	停電・ガス停止・断水・電話不通	停電・ガス停止・断水・電話不通	停電・ガス停止・断水・電話不通
緊急を要する事項（具体的に箇条書き）				
参集した市担当者				
参集した施設管理者				

### 様式6-1 避難所状況報告書の使用方法と注意事項

#### 第1報～第3報は、同じ用紙に記入すること。

##### 〔第1報〕

- 市担当者は、避難所に到着したら、速やかに第1報を災害対策本部事務局に報告する。
- 「受信手段」は、避難所で受信可能な方法を選択して○印を付けること。
- 避難所から、FAXや電話により災害対策本部事務局に連絡できないときは、伝令により連絡する。
- 地域の周辺状況のうち「火災」は、避難所管内地域の状況を記入し、その他の周辺地域の情報は、「緊急を要する事態」欄に発生地区名、状況を記入する。
- 「人命救助」の要否については、「人命救助」の要否については、何カ所、何人くらいの救助の必要があるのか記入すること。
- 「停電」、「断水」等の被害については、避難者から登録の際にその内容をまとめ、記載する。
- 「世帯数」は、様式6が世帯ごとに作成されるので、その枚数により回答することも可能。
- 「傷病者」は、災害による怪我等の外傷、発熱や咳症状、嘔吐や下痢などの体調不良を訴える者の有無及び人数を記載する。

##### 〔第2報〕

- 市担当者は、災害発生後おおむね3時間以内に第2報を災害対策本部事務局に報告する。
- 第2報では、避難者が増加しているか否か、受入れ能力を超えているか否かについても、「緊急を要する事項」の欄に記入し、報告する。
- 「人的被害」の状況についても記入する。

##### 〔第3報〕

- 市担当者は災害発生後おおむね6時間以内に第3報を災害対策本部事務局に報告する。
- 報告内容は、第2報と同様とする。
- 避難所を閉鎖した場合には、「閉鎖日時」欄を記入し、この様式により、速やかに災害対策本部事務局に報告する。

### 避難所状況報告書（第 報）

避難所名				施設管理者職氏			
送信者所属氏名				災害対策本部受信者名			
報告日時				避難所 FAX・TEL			
世帯数		現在数 (A)		前日数 (B)		差引増減 (A-B)	
内 訳	避難者	(※ ) 世帯		(※ ) 世帯		(※ ) 世帯	
	在宅避難	(※ ) 世帯		(※ ) 世帯		(※ ) 世帯	
	帰宅困難	(※ ) 世帯		(※ ) 世帯		(※ ) 世帯	
	合計	(※ ) 世帯		(※ ) 世帯		(※ ) 世帯	
人数		現在数 (A)		前日数 (B)		差引増減 (A-B)	
内 訳	避難者	(※ ) 人		(※ ) 人		(※ ) 人	
	在宅避難	(※ ) 人		(※ ) 人		(※ ) 人	
	帰宅困難	(※ ) 人		(※ ) 人		(※ ) 人	
	合計	(※ ) 人		(※ ) 人		(※ ) 人	
(再) 傷病者	(※ ) 人		(※ ) 人		(※ ) 人		
運 営 状 況	組	編成済み・未編成		地 域 状 況	土砂崩れ	未発見・あり・警戒中	
	避難所運営委員会	設置済み・未編成			ライフライン	停電・ガス停止・断水・電話不	
	活動班	編成済み・未編成			道路状況	通行可・渋滞・片側通行・通行不可	
避難所対応人数		市職員数	ボランティア人	その他人数	合計人数		
		人	人	人	人		
避難所運営委員会 会長名・連絡先		TEL			FAX		
避難所運営委員会		対 応 状 況				今後の要求、展開	
連 絡 事 項	総務班						
	被災者管理班						
	情報広報班						
	施設管理班						
	食料物資班						
	救護班						
	衛生班						
	ボランティア班						
市担当者							
施設管理者							
対処すべき事項、予見される事項（水・食料の過不足 物資の過不足 風邪等の発生状況 避難所の生活環境 等）							

※ 内訳欄の ( ) 内には屋外避難者、車中避難者等を記入すること。

## 様式 6-2 「避難所状況報告書」記載要領

- ※ 毎日 \_\_\_\_\_ 時に、災害対策本部事務局に報告すること。
- ※ 避難所開設から第3報（6時間後）までは、様式6-1（初動期用）により報告すること。
- 「連絡事項」欄には、各班の活動において発生した問題や、その解決策等を記入し、他の避難所の運営活動の参考となるようにする。
- 物資と食料については、別紙様式を使用する。

（注）

「避難者」・・・自宅に住めなくなり、避難所で生活している者

「在宅避難者」・・・自宅に住むことはできるが、ライフラインの途絶などの理由で生活できず、避難所の施設を利用したり、食料・物資の配給などを受ける者

「帰宅困難者」・・・出張や旅行等で交通機関が不通のため帰宅できなくなった者

「傷病者」・・・災害による怪我等の外傷、発熱や咳症状、嘔吐や下痢などの体調不良を訴える者

**この報告用紙は、保管する。**

## 避難者の健康状況調査シート

年 月 日 午前・午後 時 分

避難所名

避難者数 名 ( 再掲 : 5 歳未満 名  
6 5 歳以上 名 )

記入者氏名

症 状	5 歳未満	5 歳から 6 5 歳未満	6 5 歳以上
① 発熱	人	人	人
② 咳、喉の痛み、くしゃみ	人	人	人
③ 倦怠感、体の痛み	人	人	人
④ 吐き気、嘔吐、下痢	人	人	人
⑤ 味覚や嗅覚の異常	人	人	人
⑥ 流行地への渡航歴	人	人	人
⑦ その他の症状	人	人	人

避難者の方々の健康状態を把握することにより、感染症のまん延をいち早く察知し、大流行を食い止めることにつながります。

毎日、上記のような症状の有無を確認し、人数を記入します。

上記のような症状がある避難者については、避難所内で健康な方とは別室に避難していただき、医療機関の受診を勧めます。

また、上記のような症状がある避難者が多数いる場合には、松山市災害対策本部へ相談します。

「物資・食料などの配分方針」に関する伝達文（案）

- 1 物資・食料・水などは公平に配分します。
- 2 特別な配給をする場合は、委員会の理解と協力を得てから行います。
- 3 物資・食料の配布は、各組の代表者の方にお渡ししますので、各組内で分配するようにしてください。
- 4 物資・食料の配布時に、密集状態にならないよう十分に間隔を開けて並んでください。
- 5 物資などの配布は、原則毎日 \_\_\_\_\_ 時頃に、場所は \_\_\_\_\_ で食料物資班が配布しますので、秩序を持って班員の指示に従い受け取ってください。
- 6 配布する物資などの内容、数量は、その都度、放送、掲示などでお伝えします。
- 7 感染症予防の観点から物資・食料の配布時は、直接手渡しはせず、机の上に並べているものから必要な数を取ってください。
- 8 各自必要な物資などは、避難所運営委員会の物資窓口に申し込んでください。在庫がある場合はその場でお渡ししますが、在庫が無い場合は災害対策本部事務局へ要請します。入荷状況については後日窓口で確認してください。

避難所ボランティア受付表

避難所名					受付年月日		年 月 日		
No	氏名・住所・電話	性別	職 業	体温 体調確認	過去のボランティア経験の有無とその内容				
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			
	氏名： 住所： 電話：	男 女		℃ 良好・不調	有 無	(活動内容)			



## ボランティア活動時の注意事項等

## ボランティアの皆さまへ

松山市災害対策本部  
避難所運営委員会

このたびはボランティア活動に参加いただき、ありがとうございます。  
皆さまに、安全でまた気持ちよく活動していただくために、以下の各項目について、活動の際の留意点としてご確認いただきますようお願いいたします。

- 1 ボランティア保険への加入はお済みですか？  
ボランティア活動時には、必ず保険への加入をお願いします。保険へ加入していない場合は、ボランティアセンターへお問い合わせの上、保険加入をお願いいたします。  
※ ボランティア保険には、全国社会福祉協議会の福祉ボランティア保険（災害時特約付き）があります。また、大規模な災害の場合には、その災害を特定した保険が制定されていることもあります。
- 2 ボランティア活動の際には、受付時に渡される腕章や名札等の「ボランティア証」を身に付けてください。
- 3 グループで仕事をお願いする場合には、グループ内でリーダーを決めていただき、仕事の進捗状況や完了時の報告をお願いします。
- 4 ボランティアの皆さまには、危険な活動はお願いしませんが、疑問等があれば、作業に取りかかる前にボランティアセンター等にご相談ください。
- 5 体調の変化や健康管理等は、皆さん各自でご注意の上、決して無理をしないようにお願いします。
- 6 被災者の気持ちやプライバシーには十分配慮し、マナーのある行動や発言・言葉づかいに心がけましょう。
- 7 感染症発生防止のため、避難所で活動を行う場合には、事前に体温測定と健康チェックを行ってください。（発熱や症状のある方は受入れできません）
- 8 感染症発生防止のため、避難所ではマスクを着用し、こまめな手洗いや咳エチケットの徹底にご協力ください。
- 9 その他  
（その他の留意すべき事項がある場合には記載します。）

## ボランティア活動時の服装・持参品等

- 動きやすい服装、帽子、ジャンパー、底の厚い靴、革手袋、防塵マスク
- 懐中電灯、雨具（カッパ）、携帯ラジオ
- 飲料水、弁当、ごみ持ち帰り用袋
- 感染症予防資機材（マスク、手指消毒用アルコール、手袋、ガウン等）、救急用品（傷薬、痛み止め、ガーゼ、救急ばんそうこう等）、タオル、ティッシュ、保険証のコピー、小銭、地図、筆記用具、メモ帳

※ 災害の種類・季節等により、必要なものを修正してからこの様式を使用します。

取材に来られた方への注意事項

避難所内で取材を行う場合には、以下の点に注意して下さい。

松山市災害対策本部  
\_\_\_\_\_ 避難所運営委員会

**1 取材等を行う前に、必ず受付へ申し出て下さい。**

- ・取材内容の確認と受付用紙の記入をしてください。

**2 避難所の感染症発生の防止にご協力ください。**

- ・不要不急の取材等は自粛していただきますようお願いいたします。
- ・避難所に入る方は体温測定と健康チェックを行ってください。
- ・避難所に入る人数は、最低限の人数に留めてください。
- ・避難所では必ずマスクを着用し、出入口で手指消毒を行ってください。

**3 避難所のプライバシーの保護にご協力ください。**

- ・避難所では、運営責任者およびスタッフの指示に従ってください。
- ・居住区域や立ち入り禁止区域での取材はできません。
- ・避難所の撮影や、避難者にインタビューする場合は、必ず運営責任者と取材対象者の許可を取ってください。

**4 避難所では「名札」や「腕章」などを付け、所属を明らかにしてください。**

**5 お帰りの際にも、必ず受付へお立ち寄りください。**

- ・取材が終わった旨を届け出て下さい。
- ・取材に関する事は、下記へお問い合わせください。

災害対策本部事務局：089-987-7000

## 健康・保健衛生上の注意事項

### 【生活・衛生環境】

- 清掃や換気をこまめに行いましょう。
- ごみの分別を徹底しましょう。
- ごみは生活区域から離れた場所に置き、廃棄場所を決めて集積しましょう。
- トイレの清掃・消毒は定期的に行い、衛生管理に注意を払いましょう。
- 手洗い・うがいを励行しましょう。
- 体操に参加するなどして体を動かしましょう。
- 見守りや声かけをして、お互いに疲労の軽減や心のケアに努めましょう。
- 健康面や精神面で心配事があれば、医師や保健師の巡回時に相談しましょう。

### 【エコノミークラス症候群に注意！】

エコノミークラス症候群（深部静脈血栓症）とは、長時間、身体を動かさないことにより、ふくらはぎの血のかたまりの一部が血流に運ばれて、肺などの血管をふさいでしまう状態で、命にかかわる危険もあります。こまめに水分をとり、体操をするなど身体を動かしま

### 【食中毒・感染症予防】

- 手指は液体石けんと流水で洗うか、消毒用アルコール剤で消毒しましょう。
- せきやくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口を覆いましょう。
- 咳の出ている人や介護をする人は、必ずマスクを着用しましょう。
- 食器やコップ、かみそり、歯ブラシ、タオルは共有しないようにしましょう。
- 熱、咳、嘔吐、下痢のある場合は、個室で対応しましょう。
- 吐しゃ物の拭き取りには、次亜塩素酸ナトリウム液（0.01%～0.1%）を使用しましょう。

### 【要配慮者への配慮】 ※様式14も参考にしてください。

- 高齢者・障がい者・乳幼児・妊産婦などを優先して、和室や空調設備のある部屋を割り当てましょう。
- トイレに行きやすい場所を福祉避難スペースとしましょう。
- 人工透析・糖尿病など慢性疾患患者への食事内容に配慮しましょう。
- 相談窓口を設置し、要配慮者のニーズに応えられるようにしましょう。
- 小麦・そば・卵・乳・落花生・エビ・カニなどアレルギーの危険性のある食物に十分注意しましょう。
- おもちゃ、絵本、文房具など子どもが安心できるものを用意しましょう。

### 【性差によるニーズの違いへの配慮】

- 避難所運営委員会に男性も女性も参画し、男性、女性、性的マイノリティなど多様な人々のニーズに配慮できるようにしましょう。
- 着替えなどのため人目につかない場所を確保できるよう配慮しましょう。
- 仮設トイレは男女別に配置しましょう。
- 女性用の洗濯場や物干場を設置しましょう。
- 生理用品など女性が必要とする物資の配布は、女性の担当者が担いましょう。
- 夜間は避難所のパトロールを行い、子どもや女性の安全に注意しましょう。

## 避難所担当職員の参集について

防災・危機管理課

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、避難所の感染予防対策を強化しています。ご協力お願いいたします。

### 注意事項

- 参集前に必ず体温を測定してください。
- 入退所時には、必ず手指消毒を行ってください。
- 避難所では、必ずマスクを着用してください。
- 各自、手洗いや咳エチケットを徹底してください。

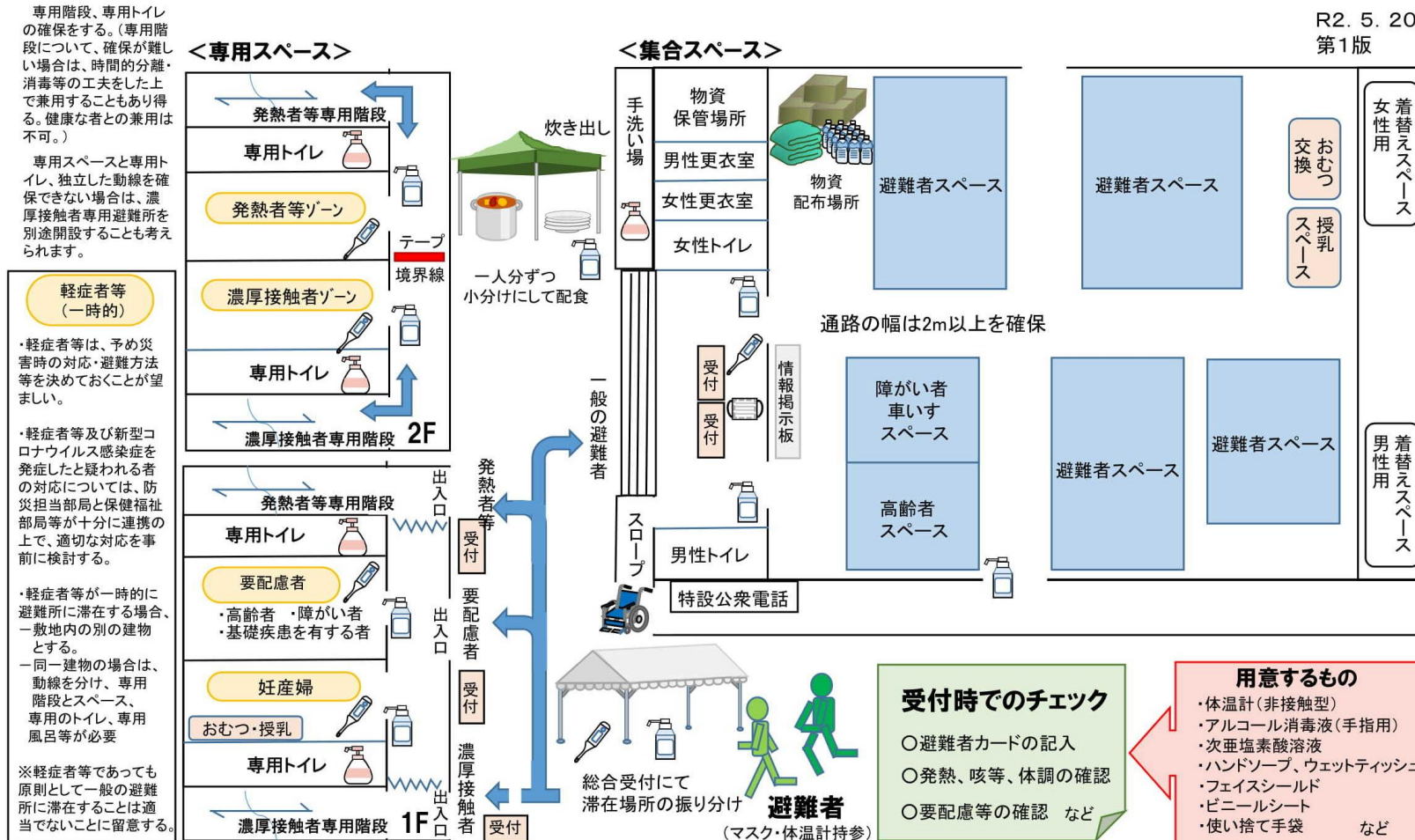
**※ 以下に該当する方は、各部局内で、要員を交代し参集してください。**

- 発熱がある方、微熱が続いている方
- 咳やくしゃみ、のどの痛み、呼吸苦などの症状がある方
- 頭や体の痛み、だるさ、嘔吐や下痢などの症状がある方
- 直近、2週間以内に体調不良等で病院を受診した方
- 直近、2週間以内に感染症の流行地域に渡航歴がある方

体温測定は、自宅又は執務室で各自が行ってください。

## 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉

R2. 5. 20  
第1版

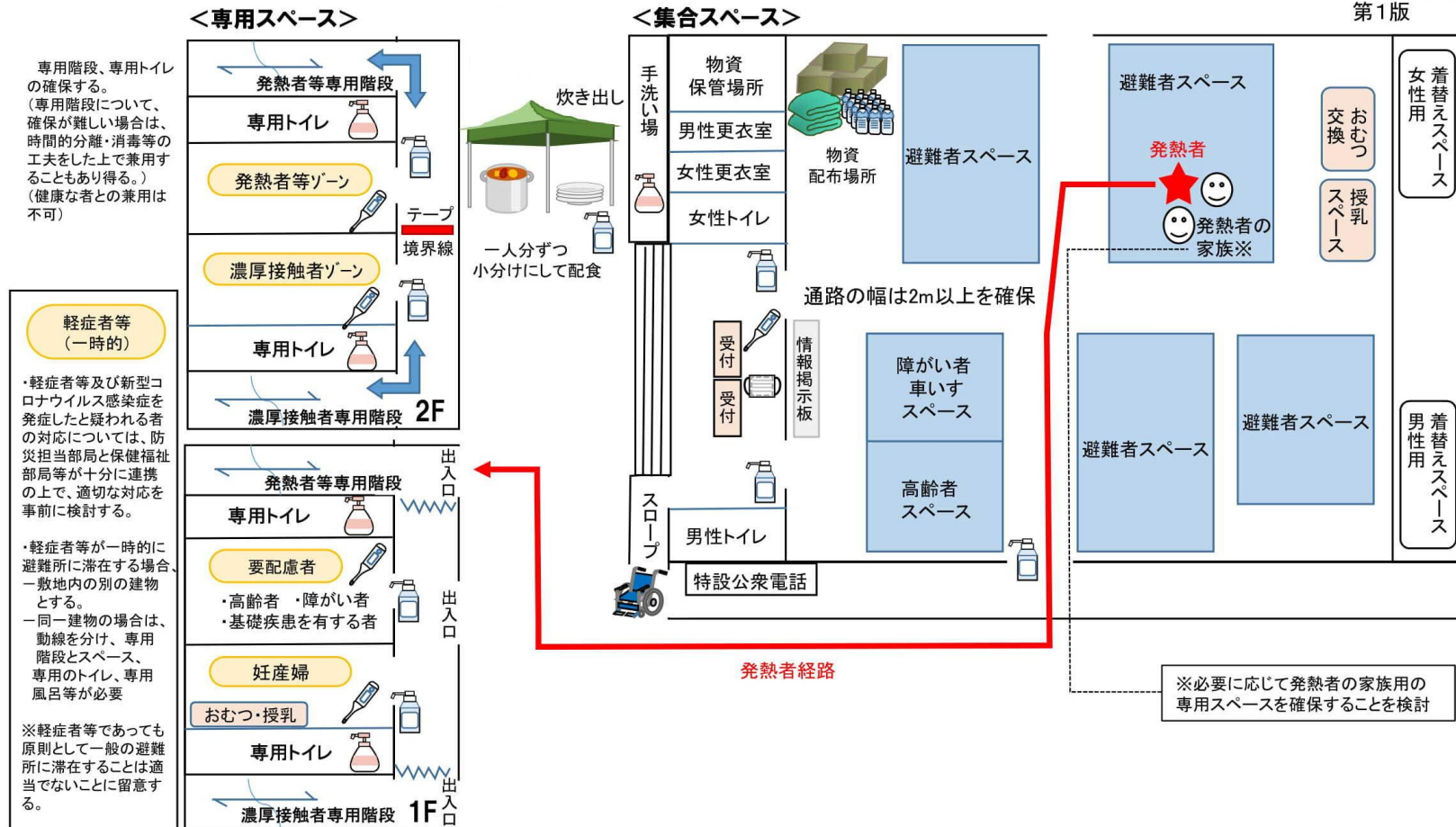


※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

出典：避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料について（令和2年5月21日内閣府政策統括官（防災担当）付参事官等通知）を一部修正

# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト (例) <避難受付以降>

R2. 5. 20  
第1版



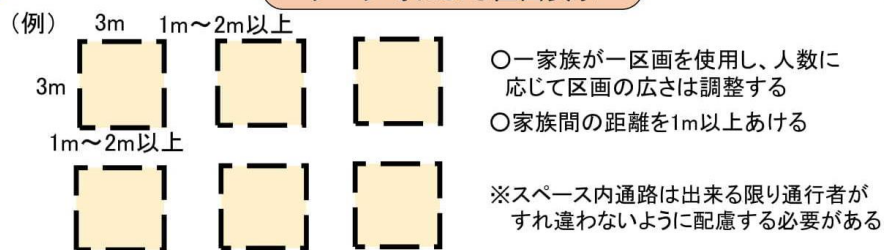
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

出典：避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料について（令和2年5月21日内閣府政策統括官（防災担当）付参事官等通知）を一部修正

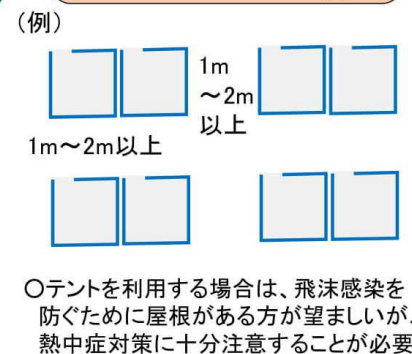
## 健康な者の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

- 体育館のような広い空間において、健康な者が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦等が滞在中には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

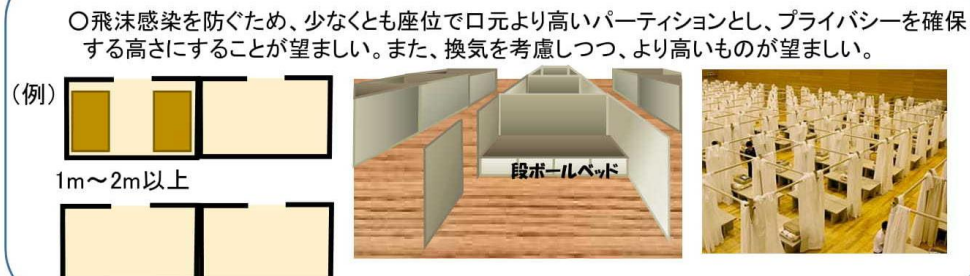
### テープ等による区画表示



### テントを利用した場合



### パーティションを利用した場合



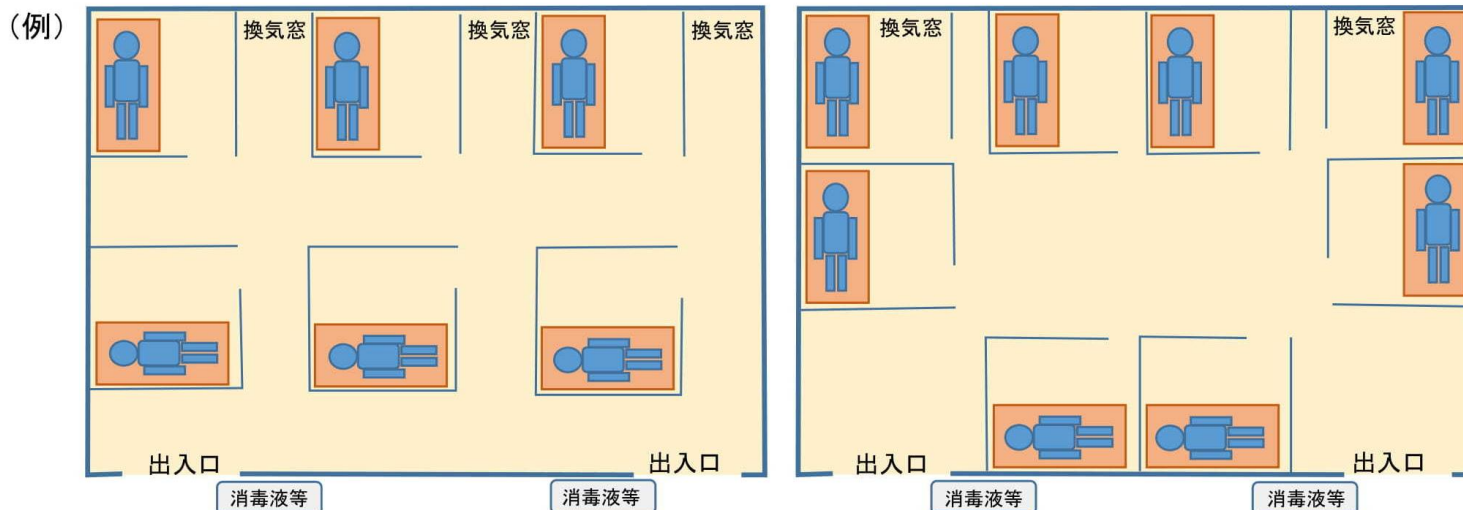
※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

出典：避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料について（令和2年5月21日内閣府政策統括官（防災担当）付参事官等通知）

## 発熱・咳等のある者や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

- 発熱・咳等のある者は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合はそれぞれ専用のスペースを確保する。  
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある者より優先して個室管理とする。



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。  
(例: 高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊娠婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

出典：避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料について（令和2年5月21日内閣府政策統括官（防災担当）付参事官等通知）



## ひなんじょ かんせんよぼうたいさく 避難所の感染予防対策について

しんがた 新型コロナウイルスの感染拡大が心配されています。  
ひなんじょ 避難所で新型コロナウイルスの感染が広がらないよう、  
きょうりょく 協力をお願いいたします。

### こじん おこな かんせんよぼう <個人が行う感染予防>

- ひなんじょ かのう かぎ つ  
・避難所では、可能な限りマスクを着けましょう。
- ひなんじょ かくへや では とき しゅししょうどく  
・避難所や各部屋に出入りする時は、手指消毒をしましょう。
- てあら せき じっし てってい  
・こまめな手洗い、咳エチケットの実施を徹底しましょう。
- ほか ひなんしゃ きより じゅうぶん たも  
・他の避難者との距離を十分に保ちましょう。
- たいちょう かた ひなんじょたんとうしゃ もう で  
・体調がすぐれない方は、避難所担当者に申し出てください。
- ひなん せいそう しょうどく かくじ おこな  
・避難スペースの清掃・消毒は各自で行いましょう

### ひなんじょぜんたい おこな かんせんよぼう <避難所全体で行う感染予防>

- つね かんき おこな まど と かいほう  
・常に換気を行うため、窓や戸は開放します。
- ていきてき ひなんじょない せいそう しょうどく  
・定期的に避難所内の清掃や消毒を行います。
- はつねつ せき げり おうとなど しょうじょう かた べっしつ いどう  
・発熱や咳、下痢や嘔吐等の症状がある方は別室に移動していただきます。

# ！感染症対策 へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

## ①手洗い

### 正しい手の洗い方

手洗いの前に  
・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

## ②咳エチケット

### 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

### 正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



# できていますか？ 衛生的な手洗い



**2度洗いが効果的です!**  
2~9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。

感染症対策へのご協力をおねがいします

# ！手洗い

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

**外出先からの帰宅時**や**調理の前後**、**食事前**などこまめに手を洗います。

## 正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

首相官邸  
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



感染症対策へのご協力をおねがいします

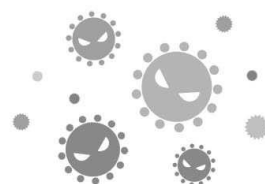
# 咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

## ■ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います**。
- ・周囲の人から**なるべく離れます**。



## 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやる



マスクを着用する (口・鼻を覆う)    ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う    袖で口・鼻を覆う



何もせずに咳やくしゃみをする    咳やくしゃみを手でおさえる

## 正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う    2 ゴムひもを耳にかける    3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省 検索



## サージカルマスクの着脱方法

### 着け方



①上部のノーズピースを鼻と頬の形に曲げる



②ひもを耳に掛け、鼻のカーブに合わせてノーズピースを曲げ、ブリーツを下へ伸ばす。



③鼻と口、あごまでしっかりと覆う。



⑥手指衛生をする。



⑤マスクの表面に触れないように持ち、オレンジハザードへ廃棄する。



④ひもを外す。

### 外し方

出典：救急隊の感染防止対策マニュアル(平成31年3月) 東京消防庁

## 次亜塩素酸ナトリウムの希釈方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。

なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

家庭用塩素系漂白剤ハイター、ブリーチなどの濃度は、約5%です。

物の表面の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム（0.1%）が有効であることが分かっています。

500mlのペットボトル1本とペットボトルキャップを使うと簡単に希釈できます。



	濃度0.1%（希釈倍率50倍）		濃度0.05%（希釈倍率100倍）	
製品濃度	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	25ml	3L	12.5ml	3L
5～6%	① 10ml （ペットボトル キャップ2杯） ② 50ml	① 500ml （ペットボトルの水 1本） ② 3L	① 5ml （ペットボトル キャップ1杯） ② 25ml	① 500ml （ペットボトルの水 1本） ② 3L
1%	300ml	3L	150ml	3L

- ▶製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶希釈する際は、直接塩素剤が手につかないように手袋をしてください。
- ▶おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。



トイレ前には、速乾性アルコール手指消毒薬を設置して、手指衛生を行いましょう。

**用意する物** 使い捨て手袋・ゴム手袋、マスク、ほうき、ちりとり、バケツ、トイレタワシ、消毒薬(ハイターなど)、トイレ掃除シート・新聞紙や布等、ゴミ袋

### 清掃手順

- 1 マスクと使い捨て手袋(ゴム手袋<sup>\*1</sup>)を着用する
- 2 トイレのドアを開け、風通しを良くする
- 3 ほうきで床をはく
- 4 汚物の入ったゴミ袋を交換する
- 5 バケツの水で消毒薬(ハイター等)を希釈する。[ハイターの場合はバケツの水1杯(約5ℓ)にキャップ4杯位(約20cc)]
- 6 ドアノブ、手すり、水洗レバー、タンク、フタ、便座、便器の外側、タイル(床)等の順で、消毒薬を薄めた布等をひたし、しっかりしぼってからふく<sup>\*2</sup>
- 7 複数のトイレの掃除を行う際は、各々の環境を清掃してから、便器の清掃をまとめて行う。
- 8 便器の内側は、消毒薬<sup>\*3</sup>(トイレハイター、ドメスト、サンポールなど原液)をかけ、2~3分後にこすらずに水で流す(汚れには、トイレタワシ等を用いる)
- 9 手袋をはずし、なくなっているトイレトーパーを補充する
- 10 清掃が終わったら、手洗い<sup>\*4</sup>をする



<sup>\*1</sup> 消毒薬の原液やタワシ・ブラシなどを用いる際には、厚手のゴム手袋が望ましい。  
<sup>\*2</sup> 清掃時に使う布や紙は、便器と、その他の清潔部位は分けて使うこと。

<sup>\*3</sup> 塩素系消毒薬(トイレハイター、ドメスト)、塩酸系消毒薬(サンポール)などがある。  
<sup>\*4</sup> 水道が復旧していない場合には、速乾性アルコール消毒薬を用いる。

### 消毒薬を使う際の注意

1. 有毒ガスが発生するため、酸と塩素系は決して混ぜて使用しないこと。
2. 消毒薬を希釈するペットボトルは専用と明記し、誤って飲むことがないように注意する。

宮城県、石巻赤十字病院、東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野、臨床微生物解析治療学、  
 感染症診療地域連携講座、東北感染制御ネットワーク

出典：東北感染制御ネットワーク



## 手袋のつけ方



①手指衛生を行う。



②利き手で手袋を取り出し、できるだけ表面に触れないように持つ。



③利き手に装着する。



⑥手袋の中の空気を抜く。



⑤手首までしっかり伸ばして装着する。



④手袋を装着した手でもう片方の手袋を取り出す。飛び出た手袋は箱の中に押し戻す。

## 手袋の外し方



①利き手で反対側の手袋の手首部分をつまむ。



②手袋の外側が内側になるように外す。



③外した手袋を利き手の手に丸めて握る。



⑥手指衛生をする。



⑤手袋外側が内側になるように外す。オレンジ ハザードへ廃棄する。(※)



④手袋を外した手を利き手の手袋の手首内側に差し込む。

※オレンジハザードとは、感染性廃棄物専用箱のことをいう。

フェイスシールド  
マスク

表面をつかむ

首の後ろをちぎる



裏が表になるように  
手袋ごと外し

腰の後ろをちぎる

素手で表に触れない



小さくまとめて捨てる



手指衛生



顔に触れないよう外す



手指衛生



出典：新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について（第4版）  
（令和2年4月1日）公益社団法人 日本透析医会

避難所運営管理マニュアル  
(新型コロナウイルス感染拡大防止編)

策 定：令和 2年 5月

編集・発行：松山市総合政策部防災・危機管理課  
〒790-8571  
松山市二番町4丁目7番地2